

平成26年度

# 事業実績報告書

社会福祉法人 清郷会

## 1. 概要

当法人は、知的障害福祉・高齢者福祉・児童福祉と多種の事業を運営しています。

知的障害施設は、障害者支援施設「協和厚生園」[施設入所支援(定員55名)・生活介護(定員55名)]と「十倉厚生園」[施設入所支援(定員50名)・生活介護(定員75名)]。生活介護事業所「日吉厚生園」(定員60名)。多機能型事業所(定員8名)・地域活動支援センター(定員15名)「デイとくら・輝」。就労支援事業所「ワークわく・きよさと」(定員20名)。特別養護老人ホームが「九十九荘」[施設サービス(定員80名)・デイサービス(30名)]。保育所が「青空保育園」(施設サービス定員120名)。そして、障害者のグループホーム「ほっとハウス」・「ひだまり」・「三歩ハウス」・「十倉ハウス」、福祉ショップ「ぷらっと」。

各施設は、各種法律に沿って運営並びに経営を行いました。その中で、ワークわく・きよさとは、前年度3名今年度1名の利用者を就労に結び付け着実に実績を積み上げました。また、青空保育園は、3回目の卒園児を24名送り出しました。そして、障害者のグループホームにおいては、「十倉ハウス」を8月にオープンして男性3名・女性2名の利用者がホームでの新生活をスタートすることができました。2棟目の「朝日ハウス」については、年度内に建物は立ちましたが、手続等で遅れ平成27年度7月開設予定です。

知的障害者においては今年度中にサービス等利用計画の作成が行われ障害者の新しい地域移行の道筋となることを期待したいと思います。

各施設での支援は、利用者の年齢や障害の程度、認定区分(支援・介護)により支援・重度化への対応、健康への配慮、体力維持・増進、乳幼児の年齢による発達過程ごとの支援(発達・発育)など、各施設独自の課題や仕事内容も多種多彩ですが、個別支援計画・ケア計画・個別指導計画の基に基本的な生活習慣・創作活動・文化的活動・余暇的活動・リハビリテーション、遊びを通しての教育・養護や子育て支援など、年間を通して支援し、利用者・児の意向・人格の尊重の中で、自立支援・乳幼児の成長に向けて取り組むことが出来ました。

地域福祉として、短期入所・日中一時支援・地域活動支援センターⅡ型・児童発達支援・放課後児童デイサービス・相談支援事業・一時預かり特定保育・子育て支援事業(園開放・育児相談)・延長保育を提供して受け入れや相談に応じ地域ニーズに

えました。

「清郷会」は、社会福祉法人として、時代のニーズ、地域のニーズ、利用者（児）のニーズ、家族のニーズに応じて事業を立案・建設・実践と展開をしました。しかし、現在国は社会福祉法人の在り方等の見直し作業中で透明性や地域における公益的取組等改革を求める厳しい状況下にあります。そのような中、近隣の行政と災害における「福祉避難所」として、成田市と平成24年11月7日、富里市と平成27年4月30日に「災害時における福祉避難所の設置に関する協定」を締結しました。知的障害者3施設の締結ではありましたが、清郷会としては、九十九荘や青空保育園等を含め、非常災害時には、地域の方の避難場所としても検討中で地域の皆様にも「安心・安全」を提供する法人運営を目指しています。

各事業所（施設）は、富里市を中心に近隣市町村の皆様のご利用を頂き、地域の方々に支えられて、地域福祉の増進のために活動を続けてきました。富里市をはじめ近隣市町村のご支援・ご指導に御礼申し上げます。

また、各施設の活動を支えて下さっているボランティアの皆様方、ご寄付、ご助成頂く団体様、個人の皆様に心より感謝申し上げます。

## 2. 理事会・評議員会及び入札等資格審査委員会開催について

第1回 平成26年5月28日（水）理事6名・評議員7名・監事2名

議決事項 第1号 平成25年度法人及び各施設事業報告

第2号 〃 法人及び各施設会計決算報告

第3号 ひだまり・ほっとハウス、スプリングラー工事完了報告

第4号 グループホーム補助金決定及び解説支援補助決定について

第5号 その他

第2回 平成26年9月5日（土）理事6名・評議員7名

議決事項 第1号 定款変更について（財産増、事業内容の追加

第2号 補助金の申請（共同募金会、馬主社会福祉財団、日本財団）

第3号 平成26年度、平成27年度の施設整備について

第4号 その他

第3回 平成26年10月21日（火）理事6名・評議員7名

議決事項 第1号 入札等資格審議委員会について

第2号 グループホーム（朝日ハウス）新築工事入札について

1、入札方法の決定

- 2、入札参加業者の選定基準（資格要件の決定）
- 3、最低制限価格の決定
- 4、入札参加業者の仮選定
- 5、その他

第3号 その他（次回理事会の開催について）

第4回 平成26年11月5日（水）理事6名・入札等資格審査委員2名

議決事項 第1号 グループホーム（朝日ハウス）新築工事の入札について

- 1、入札参加業者の選定
- 2、その他

第2号 その他（次回理事会の開催について）

第5回 平成27年1月26日（月）理事6名・入札等資格審査委員2名

議決事項 第1号 グループホーム（朝日ハウス）新築工事入札結果及び契約について

- 1、11月5日以降の経過説明
- 2、入札結果の承認について
- 3、契約締結の承認について

第2号 平成27年度就労継続支援事業B型施設整備について

第3号 就業規則及び給与規程の一部改正について

第4号 共同募金会・馬主福祉財団・日本財団等の平成26年度助成決定についての報告

第5号 その他（九十九荘整備改修及び車両購入）

第6回 平成27年2月27日（金）理事6名・評議委員7名

議決事項 第1号 平成26年度法人補正予算（案）

第2号 〃 各施設補正予算（案）

第3号 臨時職員就業規則の改定について

第4号 就労継続支援事業B型の事業計画（案）について

第5号 グループホーム入札及び契約報告

第6号 馬主社会福祉財団助成事業実績報告

第7号 その他

第7回 平成27年3月27日（金）理事6名・評議委員7名

議決事項 第1号 平成27年度法人及び各施設事業計画（案）について

第2号 〃 法人及び各施設会計予算（案）について

- 第3号 グループホームの事務所及び農機具倉庫の整備について
- 第4号 グループホーム（朝日ハウス）の開設と運営及び拠点区分の  
確立
- 第5号 富里市地域包括支援センター（受託）の整備事業
- 第6号 大規模修繕計画について
- 第7号 就業規則の改定について
- 第8号 職員の採用・退職・異動等について
- 第9号 その他

### 3. 施設の規模（資産の状況）

#### (1) 土地及び建物の状況

土地	(44筆)	47,832.79 m <sup>2</sup>	法人所有地(27筆)	38,983.04 m <sup>2</sup>
協和厚生園用地		5筆	5,373.84 m <sup>2</sup> (借地 600 m <sup>2</sup> 含)	駐車場有償
日吉厚生園用地		1筆	2,885.76 m <sup>2</sup>	
九十九荘 用地		5筆	9,215.64 m <sup>2</sup> (借地 1,896 m <sup>2</sup> 含)	駐車場有償
十倉厚生園用地		6筆	17,265.00 m <sup>2</sup>	
グループホーム用地		5筆	1,958.62 m <sup>2</sup>	
保育園用地		19筆	10,095.00 m <sup>2</sup> (借地 6,354 m <sup>2</sup> 含)	
ワークわくきよさと用地		3筆	1,038.93 m <sup>2</sup>	
(日吉倉1088-26 376 m <sup>2</sup> 持分14分の1 公衆道路)				
借地について (8,850 m <sup>2</sup> ) 保育園等無償借地 5,318 m <sup>2</sup>				
他 3,532 m <sup>2</sup> 駐車場有償				

建物	(26棟)	11,880.64 m <sup>2</sup>	車庫運用財産含
協和厚生園建物	(5棟)	1,803.96 m <sup>2</sup>	
日吉厚生園建物	(3棟)	952.06 m <sup>2</sup>	
九十九荘 建物	(4棟)	3,870.39 m <sup>2</sup>	
十倉厚生園建物	(5棟)	3,209.55 m <sup>2</sup> (車庫 110. m <sup>2</sup> 含)	
グループホーム建物	(5棟)	589.41 m <sup>2</sup> (1棟借家 98.82 m <sup>2</sup> 含)	
青空保育園建物	(2棟)	1,208.84 m <sup>2</sup>	
ワークわく・きよさと	(2棟)	246.43 m <sup>2</sup>	

(2) 施設整備資金借入金の状況		福祉医療機構(旧 社会福祉医療事業団)より	
平成14年	九十九荘	借入額	30,000,000円
		償還済額	18,000,000円
		要償還額	12,000,000円
平成10年	十倉厚生園	借入額	130,000,000円
		償還済額	104,000,000円
		要償還額	26,000,000円
平成23年	青空保育園	借入金	50,000,000円
		償還済額	8,370,000円
		要償還額	41,630,000円
		償還済合計額	130,370,000円
		要償還合計額	79,630,000円
		合計	210,000,000円

#### 4. 運営概要

6施設7事業所は、平成26年度事業計画に基づき順次実施された。利用者・児に対し、個々人の自発的な考えを支援、趣旨・目的を把握して、「個別支援」を行った。日々の生活での「仕事」「文化活動」「自治会活動」「余暇の活動」「利用者の要望」「各種リハビリテーション」など、その全てが「自立」・「生きがい」へ向けての支援・援助となった。また、乳幼児においては、遊びの中から学び、育ちの場として日々の成長を支援した。

##### (1) 地域交流行事

各事業所、地域交流行事(夏祭り、納涼会、芋掘り会、収穫祭、運動会、ワーク祭り等)を催し、近隣の多くの皆さんの参加をいただき、発表の場・交流の場として、大変良い交流ができた。また、地域への参加として、富里福祉まつり、富里ふるさと祭、ふれあい印旛、八街福祉祭、八街ふれあいスポーツ大会、八街ユニークダンスのつどい、日吉台小・浩養小PTAバザー、日吉台商店会、富里障害者フェスティバル、公津小学校バザー、日吉台小学校、浩養小学校、富里南小学校、富里北中学校との多種多彩な交流ができた。

##### (2) 体験学習

6施設7事業所ともに、施設を開放し体験の場を提供しました。知的障害をもつ方たちの入所・通所、そして高齢者と幅広い体験の場を、青空保育園、葉山保育園、浩養幼稚園、日吉台小、七栄小、洗心小、浩養小、富里南小、富里南中、富里中、富里北中、富里特別支援学校、印旛特別支援学校、富里市社協夏休み体験、特別支援学校教諭、PTA地区社協、富里中部地区民生委員、自治会その他多くの利用があった。

##### (3) 学生実習

6施設7事業所が実習の受け入れを行う。東京成徳大学、淑徳大学、東京福祉

大学、帝京科学大学、城西国際大学、聖徳大学・短大、植草学園大学・短大、千葉敬愛短大、千葉経済短大、千葉明德短大、聖セシリア女子短大、日本赤十字看護専門学校、成田国際福祉専門学校、一葉福祉専門学校、NHK通信教育、二葉看護学校、東京福祉専門学校、江戸川大学総合福祉専門学校、東京スポーツ・レクリエーション専門学校、千葉女子専門学校、富里市立第一小、その他。多くの学生の現場実習や体験の場を提供しました。

#### (4) ボランティア

環境整備、朗読、陶芸、洗濯・リネン、理髪、尺八、ちぎり絵、レザークラフト、フラワーアレンジメント、舞踊、そして富里ボランティア、富里民謡会、葉山保育園、富里南中、家族ボランティア、ぽこあぽこ、音楽療法、等、個人、グループの皆さんにご支援を頂きました。

#### (5) スポーツ活動

障害者施設では、富里スイカロードレース、成田 POP ラン、四街道ガス灯ロードレース、佐倉朝日健康マラソン、千葉ゆうあいピック駅伝大会、県障害者スポーツ大会（陸上競技・フットベースボール・ボウリング）、県障害者フライング・ディスク大会、手をつなぐスポーツのつどい、ソフトボール大会、県 I D 陸上競技選手権大会などの競技に参加し目標に向かって努力をした。参加する喜びは自信につながった。

#### (6) 在宅者・児、保護者への支援

障害者支援施設（協和・十倉）は、短期入所（宿泊）で多くの方が利用し、日中一時支援を実施している。日吉厚生園は、日中一時支援や土曜日・祝日もオープンをして支援。そして十倉厚生園は、障害者・児相談支援事業を実施。デイとくら・輝は、生活介護・児童発達支援・放課後児童デイサービスを実施している。就労移行支援事業所ワークわく・きよさとにおいては就労に向けた取り組みに力を入れている。障害者支援施設は、グループホームのバックアップなど幅広く在宅者の支援を行っている。青空保育園は、一時預かり保育・子育て支援事業（園開放・育児相談）・延長保育を実施している。九十九荘は、短期入所やデイサービスの受け入れ人数が多く、各施設とも地域在宅支援に貢献した。

#### (7) 防災訓練

各施設は、定期的な避難訓練を実施し、非常時の対応を身に付けるよう想定時間・場所を変え訓練を実施した。また、消防署立会いの避難訓練や職員による初期消火も実施した。非常時に備え、非常食・野外釜を使用しての屋外での昼食、

グループホームにおける避難訓練、保育園においては、消防自動車が入園しての避難訓練等各事業所で職員の防災意識が高まった。

#### (8) 広報活動

6施設から構成する広報委員会は、年2回広報誌を発行し、公的機関その他に配布をした。ホームページ委員会は、ホームページの内容を検討し、より良いホームページとなるよう努力した。

#### (9) グループホーム

名称「ほっとハウス」は、男性4名が八街市文違の一戸建てに住む。名称「三歩ハウス」は、富里市十倉の一戸建てに男性4人で住む。名称「十倉ハウス」富里市十倉に8月オープンで女性2名・男性3名計5名で住む。バックアップ施設の十倉厚生園は13名を見守りながら支援をした。名称「ひだまり」は女性4名が富里市七栄の一戸建てに住む。バックアップ施設の協和厚生園は4名を見守りながら支援をした。

#### (10) 助成・寄贈

中央競馬馬主協会	15人乗りマイクロバス (ワークわく・きよさと)
日本財団	軽自動車バン (ワークわく・きよさと)
千葉県共同募金会	普通車バン (ワークわく・きよさと)
協和・日吉家族会	移動用アンプ・ワイヤレスマイク (協和厚生園、日吉厚生園)
十倉家族会	備品 (十倉厚生園)
富里市手をつなぐ親の会	トイレトペーパー (各知的障害者事業所)
幸せの黄色いレシートキャンペーン	備品 (各障害者事業所)
その他 (匿名・個人等)	

#### (11) 職員研修

県内外で開催する研修に数多く参加し、研修参加職員から他職員が報告研修を受ける。難しいケースに対応するため、目標をもって多種の研修に臨んだ。支援の方法、介護技術、機能訓練関係、身体拘束、虐待防止、感染症、認知症、保育研修、摂食指導、乳幼児の食育に関する研修など具体的な研修に参加でき、利用者・児の多様なニーズに応え研修内容を実践へと結びつけた。

そして、6施設7事業所交換職員研修は、異業種・他施設で研修をすることで、新しい発見や業務の再確認など新鮮な気持ちで研修が実施されました。法人内研修として、新人研修・中堅研修・各専門職種研修(医務・防災)等を行い人材育成のために熱気ある研修会を行った。

### (1 2) 環境・美化

各施設、園庭芝生・グリーンカーテン（オーシャンブルー：朝顔）・花壇に季節の花を植え、利用者・児、地域住民の目を楽しませた。春の鯉のぼり・夏のオーシャンブルー・冬のイルミネーションは、利用者（児）・家族のみならず通行される皆さんに季節感を感じ取って見入る姿が印象的でした。

### (1 3) 家族との連携

利用者・児の支援に家族は大変大切な欠くことができない存在です。一泊旅行（十倉）グループ旅行、夏祭り、芋掘り会、マラソン大会、忘年会、新年会、運動会、入園式、卒園式、その他、家族と一緒に実施することで、利用者・児の喜びは格別のものであり喜びがいつまでも続くことを望みます。